

# 企業誘致で中国社と提携

## 山東省の環境産業団地 ISO取得支援も

### エコヒルズ

エコヒルズ(東京都港区、03・3505・0490)は、中国山東省で計画されている環境関連産業の工業団地「青島国際環保産業園」の開発・運営会社と業務提携した。日本企業に対し同工業団地への投資や進出を働き掛けることも、工業団地全体でのISO14001一括認証取得の支援や、進出企業の環境マネジメントシステム(EMS)維持管理などを受託。誘致手数料やISO関連業務を合わせ、今後、年間合計五〇〇〇万円の売り上げを見込む。

同工業団地の開発・運営会社「青島浦華紫光国際投資管理有限公司」と業務提携した。同工業団地は、青島市の西側に位置する膠南市内で計画。敷地面積約三・三四平方kmにおいて、ドイツや米国、日本など各国から新エネ、省エネ、環境配慮型製品といった環境関連を中心、IT関連など先端企業を政府支援の下で誘致する方針。進出企業は、所得税など税制優遇措置を受けることも可能だ。開発・運営会社には、紫光グループや浦華社、杭州鉄鋼集団公司等、現地の有力企業や企業グループが出資。進出企業は、これら出資者との提携や合弁会社設立などを通じて、自社の製品・技術を同国内で展開することも期待できるといふ。エコヒルズは、日本企業に対し、同工業団地への投資や現地法人の設立などを働き掛ける。誘致社数などに合わせて管理会社から報酬を受ける契約で、五年間で二億円の売り上げを見込む。また、同工業団地では、団地全体でのISO14001認証取得を計画しており、エコヒルズがそ



「青島国際環保産業園」には、日米独など各国の環境関連企業の進出が計画されている(写真はイメージ)

のコンサルティングを行う業のEMS維持管理業務の認定。認証取得後は、受託する内容で、年間一〇〇〇万円の売り上げ

を目指している。今後は一年間を掛け、認証取得を目指す。審査登録機関は、エコヒルズが選定する。田宮嘉一社長は、「世界的な対応体制などを見て総合的に判断したい」としている。